

想青学園
(後期課程)

学校生活についてのアンケート調査結果

福山市教育委員会事務局
管理部学校再編推進室

2023年(令和5年)7月

目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	アンケート調査の結果	
	(1) 考察及び今後の取組	
	ア 生徒	2
	イ 保護者	3
	ウ まとめ	6
	(2) アンケート集計	
	ア 生徒	7
	イ 保護者	10
	ウ 主な記述回答	11
3	アンケート内容	18

1 アンケート調査の概要

(1) 目的

少子化に伴い学校が小規模化する中，子どもたちに主体的・対話的で深い学びを通して，必要な力「21世紀型“スキル&倫理観”」を育むことができるよう，一定の集団規模のより良い学びの環境づくりのため，学校再編に取り組んでいる。

2022年（令和4年）4月に開校した想青学園（後期課程）において，生徒及び保護者を対象に行った再編後のアンケート調査から現状を把握し，成果と課題を明らかにすることで，これからの取組に活かしていくものとする。

(2) 対象者（2023年（令和5年）3月時点）

	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）
生徒	240	211	87.92
保護者	240	142	59.17

(3) 調査方法

生徒・・・学校で担任の先生の説明を聞き，各自が学習用端末を活用して回答

保護者・・・アンケート実施の依頼文に記載のURL，QRコードから回答フォームにアクセスし回答

(4) 調査期間

2023年（令和5年）2月1日から同年2月14日まで

2 アンケート調査の結果

(1) 考察及び今後の取組

ア 生徒

◆学校生活について
○「学校が楽しい・どちらかと言えば楽しい」 84%
◆授業について
○「新しいことを知ったり，調べたりすることが楽しい・どちらかと言えば楽しい」 91%
○「自分で考えたり，友だちと話合ったりすることが楽しい・どちらかと言えば楽しい」 92%
○「『分かった』『できた』と実感することがよくある・どちらかと言えばある」 86%
◆部活動について
○「部活動に参加している」 60%
○「部活動は楽しい・どちらかと言えば楽しい」 88%

(学校生活)

- 8割以上の生徒は楽しいと答え，その理由の多くは「友だちと話をすることや部活が楽しい」「友だちと学習するのが楽しい」「他の地域の生徒や他学年と交流できるから」「授業が楽しい」などであった。

環境が大きく変化した旧内浦・内海・能登原・常石小から進学した生徒（7年生）と旧内海中の生徒（8・9年生）については，86%が「楽しい」と回答し，その理由は「みんなと話したり意見を交流したりするのが楽しい」「新しい環境だから新鮮」などであった。

- 一方，2割弱の生徒が「学校が楽しくない」と答え，その理由は「クラスの雰囲気がよくない」「授業が面白くない」「友だち関係が面倒くさい」などであった。
- 生徒の多くは学校生活を楽しく感じており，ほとんどの理由が友だちとの関わりであり，新しい友だちも増やしなが，新たな環境に馴染んでいっていることが分かる。
- 楽しくないと感じている理由は，クラスの状態や友だち関係にあることから，授業改善やお互いを思い合える集団づくり，対話を通じた個別支援に取り組んだ。引き続き学校全体で，学びが面白いと実感する授業づくり，お互いの意見や違いを認め合える集団づくりに取り組んでいく。

(授業)

- 約9割の生徒は「新しいことを知ったり，調べたりすること」や「自分で考えたり，友だちと話し合ったりすること」が楽しい，「『分かった』『できた』と実感すること」があると，肯定的な回答をしており，その理由は「どの授業も気軽に質問でき，より学びを深めることができるようになった」「グループワーク等を通じて新たな発見が多くできた」などであった。

子どもたちは、集団での学習の中で学ぶ過程を楽しく感じたり、「分かった・できた」と実感したりしていることが伺える。

- 一方、約1割の生徒が否定的な回答をしている。「もっと色々な人に発表をしてほしい」「自分のペースで問題を解く時間がほしい」などの理由であったことから、改めて、一人一人の子どもの学習ペースなどを見ながら「学びが面白い！」と実感できる授業づくりに取り組んでいく。

(部活動)

- 約6割の生徒が部活動に参加し、そのうち8割以上の生徒が楽しく活動していると回答している。「自分の実力を試したり、仲間と高め合ったりすることが楽しい」「友だちと競い合って力をつけていくのが楽しい」など、仲間と切磋琢磨しながら取り組む中で、自分の力を高めたり、達成感を共有し合ったりしている姿が伺える。
- 一方、少数であるが「クラブの人数が少ない」「やる気が出ない」などの意見もあることから、活動の様子を見る中で、必要な対応を行っていく。

記述回答

(想青学園で学ぶようになってから気が付いたこと(変化)、自分でも努力したこと)

- 「友だちがいるから学習が楽しいことに気付いた」「様々な人たちと関わるようになり、相手の視点に立つことの大切さに改めて気づいた」「前期課程もいるので、お手本になるような態度を見せられるよう意識している」などの意見があり、子どもたちが、再編してできた学校であることを意識し、お互いを思いやりながら関わっている様子、学習面や生活面で刺激を受け、視野を広げている様子が伺える。

(困っていること)

- 「勉強が分からない。もっと分かりやすくしてほしい」「授業中の無駄なおしゃべりが少し多い」などの意見があり、教員は改めて自分の授業を検証し、改善に努める。

(前の学校のときよりも学校の規模(集団規模)が大きくなって感じていること) ※8年生以上の旧内海中生徒

- 「新しいことがたくさんあって楽しい」「話し相手が増えた」「話しかけることは自信がないけれど頑張っている」「相手にどう思われているのか気になる」などの意見があり、多様な友だちと関わり合う中で、不安を感じたりもしながら、コミュニケーション力や社会性を育てていることが分かる。

イ 保護者

○ 「子どもは学校生活を楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしている」 88%

(学校生活)

- 約9割の保護者は子どもが新しい学校を楽しく過ごしていると回答し、その理由

は「毎日笑顔で学校に行く」「学校での楽しい出来事をたくさん話してくれる」「友だちとの交流が広がって、考え方もしっかりしてきたように思う」「部活やクラスで自分の居場所がしっかりあるように感じている」などであった。

- 一方、約1割の保護者は子どもが新しい学校を楽しく過ごしていないと回答し、その理由は「環境、人間関係に馴染めていない」「クラスの人間関係に疲れている」などであった。
- 保護者は、子どもから話を聞き、その表情や態度から、楽しく過ごしていると安心されたり、馴染めていない、疲れていると心配されたりしていることが分かる。環境に馴染めていない生徒には、アンケート後すぐに声をかけるなど個別に対応しているが、引き続き個に応じた支援を行うとともに、他者を大切に作る仲間づくりを進めていく。

記述回答

(教育活動(授業、行事等の取組)について、良いと思うことや課題に思うこと)

- 良いと思うこととして「SOSEI学で地域のことを知ることができる」「再編した地域にグループで分かれて調べ学習ができたこと」「子どもたちが自分の意見を述べて行動できている様子が素晴らしい」「多学年での交流ができる。新校舎での環境がよい」などがあった。

今後も、地域の方々の協力を得ながら、SOSEI学や各教科等の教育内容の充実を図り、子ども主体の学びを推進していくとともに、義務教育学校のメリットを生かした教育活動を進めていく。

- 一方課題と思うこととして、「授業中うるさく感じる」「宿題・中間テストがない」「運動会は前期課程と後期課程別々にした方がよい」「もう少し各学年の色々な情報が伝わると、保護者が学校のことを身近に感じることができると思う」などの意見があった。

宿題は、一斉に出したり、子どもの自主性に任せたりすることを組み合わせ、個別の学習支援も行っている。中間試験は、單元ごとに理解度を確認するテストにしている。取組を理解していただけるよう努めるとともに、より良いものに改善していく。学校行事の在り方については、全校で行うもの、前期・後期で分けて行うものなど、行事の目的や教育効果、保護者の意見等を踏まえる中で検討していく。

(想青学園で学ぶようになって子どもたちが成長したと思われること、子どもたちが努力し克服したこと、その時保護者がされたかかわり(応援や励まし、教員への相談)など)

- 「色々な友だちとの関わりが増え、色々な人の思いなどが知れた」「何事も自分で考え進めることができるようになった」「前期課程との違いを受け入れて、責任ある行動ができるようになった」などの意見があった。

新たな環境で前向きに行動し、仲間と切磋琢磨しながら成長していく子どもを温かく見守り、支えてくださっている保護者の姿が伺えた。

(今心配に思われていること、教育委員会や学校に知らせたいこと)

- 「子どもの学力・体力が低下している」「端末を勉強以外に使って困っている」「旧学校での行事や地域でのイベントなどが無くなり、地域の方からも寂しくなったと聞く」などの意見があった。
- 学力・体力については、一人一人の学ぶ過程や伸びを評価し、意欲を高めながら、持っている力を引き出し、伸ばしていくことができるように取り組む。
学習端末は、使い方を自分で考えて判断できる力を身に付けていくことが大切であり、活用方法について子どもたちと話し合い、ある程度のルールを作った上で、主体的に使うことができるように取り組んでいる。
- 今後はさらに、地域の方々に、様々な教育活動を通して、子どもたちが生き生きと学ぶ姿を見ていただきたいと考えており、コミュニティ・スクールのしくみを活用し、つながりを深めながら、地域とともにある学校づくりを進めていく。

(前の学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなって感じていること) ※8年生以上の旧内海中生徒の保護者

- 「今はリモートでどこでもつながる。(再編の) 必要性を感じない」「以前は先生や友だちとの距離感が近かったため、集団規模の大きさに戸惑いストレスを感じていることが心配」などの意見があった。
- 以前より教員や友だちとの関わりが薄れ、集団規模の大きさにストレスを感じていることを心配されており、今後も、様子を見ながら声をかけ、話を聞くなど対話を大切にされた個別の支援を行っていく。

(教育活動を充実させるため、保護者（地域）としてどんなことができると思うか、また子どもたちの学びにどうかかわっていききたいか)

- 「可能な限り協力したい」「朝の通学の見守りをできるだけしたい」「住んでいる町の誇りを全国にPRする取組を子どもたちと一緒に考えて発信したい」「地域住民がボランティアとして学校での様々な活動に関わっていくこと」「子どもと話し合う時間を大切に、今後どうしていきたいかを一緒に考える」「もっと地域とのかかわりがあっても良いと思う」「コミュニティ・スクールが何なのか、保護者や地域への理解が進んでいないと思う」などの意見があった。
- コミュニティ・スクールは「学校運営協議会」を設置した学校であり、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのか、目標やビジョンを共有し、学校・地域・保護者等が一体となって子どもたちを育てていくものである。多くの保護者や地域の皆さんに学校運営に参画していただき、教育内容の充実を図っていく中で、理解が進むよう取り組んでいく。

ウ まとめ

子どもたちは、再編により目ざす姿である「多様性を認め合い、自ら考え、意欲的に学ぶ」ことに向け、地域の方々の温かい協力を得て、特色ある教育を行う中で、それぞれが努力し、着実に力を付け、成長している。

新しい環境になかなかなじめない、友だち関係がうまくいかないといった子どももいるが、対話を大切にした個別の支援や仲間づくりを行っている。

保護者には、授業参観や運動会など行事等を通して、積極的に活動に取り組んでいる子どもたちの姿を見ていただき、新しい環境に馴染もうと努力している子どもたちを応援していただいた。

想青学園は、「かかわる つながる」ことを大切にした学校づくりを進め、新教科S O S E I学では、内海・沼隈地域の多彩な地域資源を学習素材として、探究学習に取り組んでいる。また、コミュニティ・スクールを導入し、地域・家庭・学校が一体となって、教育内容の充実を図っている。

3学期からは、新校舎での学校生活が始まり、全校児童生徒と教職員が日々の生活を同じ校舎で過ごす中で、小中一貫教育を効果的に推進できる義務教育学校のメリットを生かした教育活動を進めている。

教育委員会は、学校とともに、多様な友だちと学び合える環境だからこそ、すべての子どもたちが持っている「やりたい」「知りたい」という思いをより一層大切にしながら、一人一人の内発的動機に基づいた学力（認知・非認知能力）の向上を追求していく。

【グラフの見方】

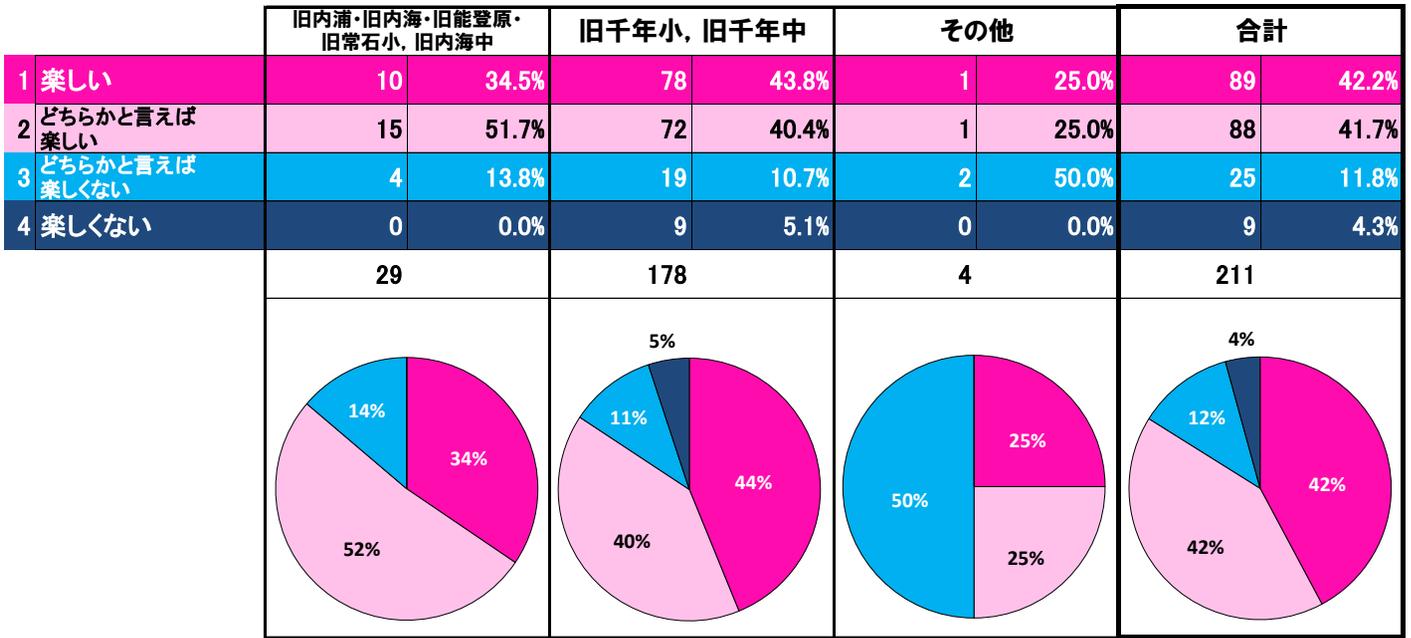
※ 合計211人の生徒が回答しています。

(旧内浦小 0人, 旧内海小 4人, 旧能登原小 8人, 旧常石小 8人, 旧千年小 60人, 旧内海中 9人, 旧千年中 118人, その他(学区外) 4人)

(2) アンケート集計

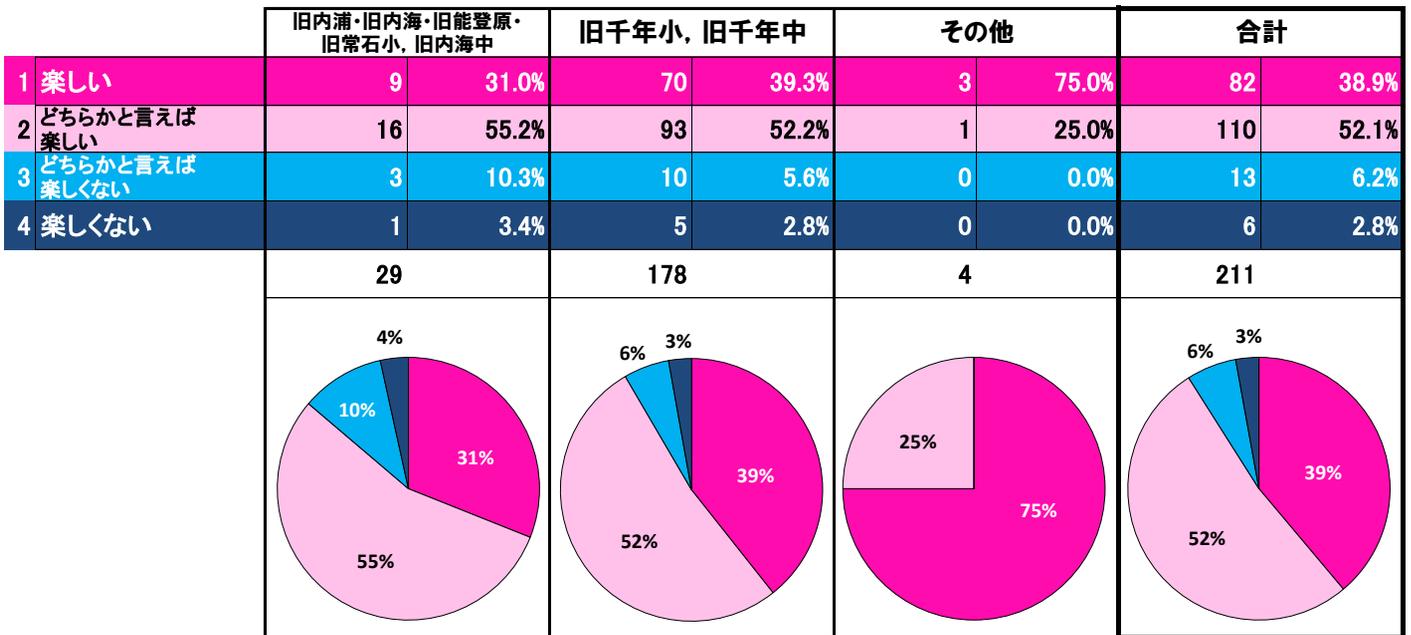
ア 生徒

学校は楽しいですか。



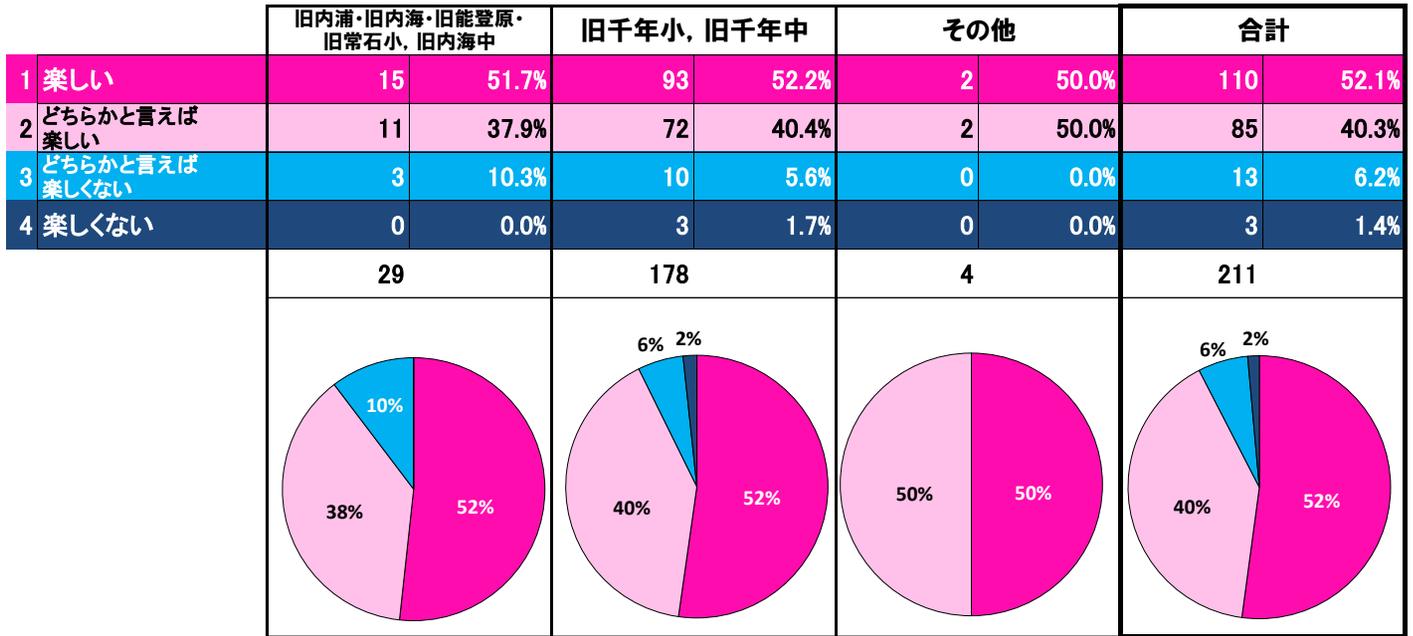
「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した生徒の割合は、全体の84%である。
「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した生徒の割合は、全体の16%である。

新しいことを知ったり、調べたりすることが楽しいですか。



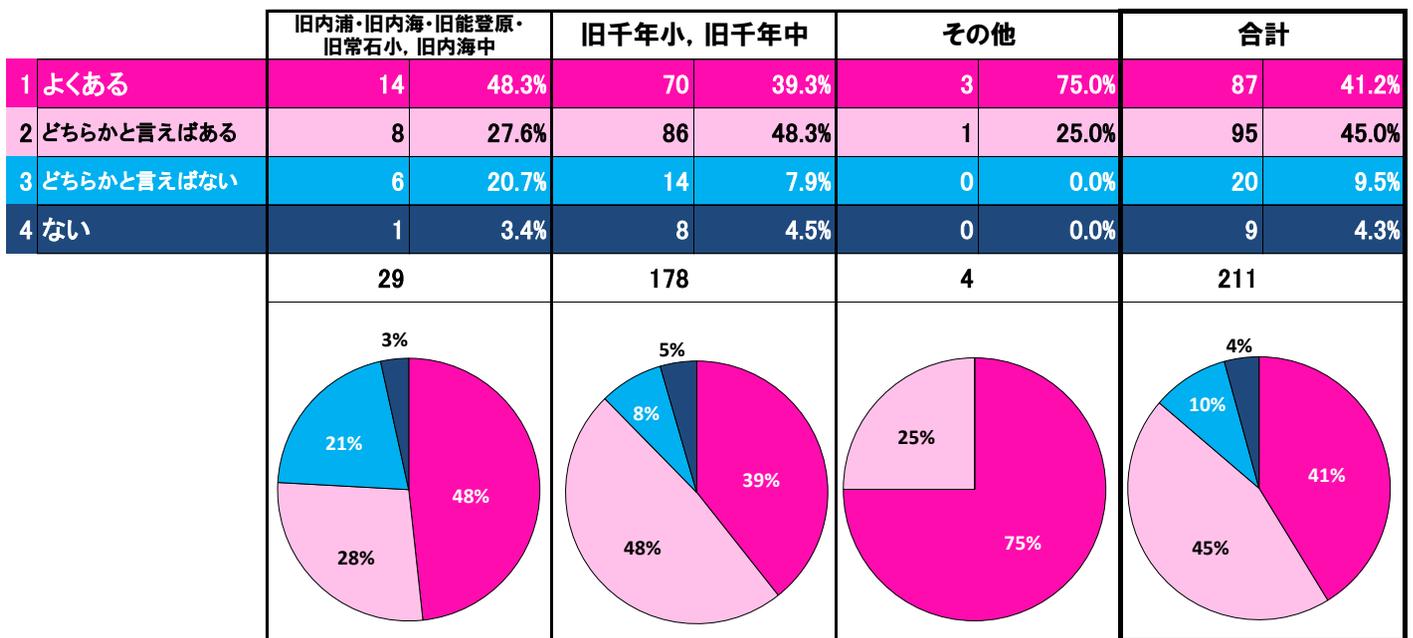
「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した生徒の割合は、全体の91%である。
「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した生徒の割合は、全体の9%である。

自分で考えたり、友だちと話し合ったりすることが楽しいですか。



「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した生徒の割合は、全体の92%である。
「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した生徒の割合は、全体の8%である。

「分かった」「できた」と実感することがよくありますか。



「よくある」「どちらかと言えばある」と回答した生徒の割合は、全体の86%である。
「ない」「どちらかと言えばない」と回答した生徒の割合は、全体の14%である。

部活動に参加していますか。

	旧内浦・旧内海・旧能登原・ 旧常石小, 旧内海中		旧千年小, 旧千年中		その他		合計	
1 参加している	21	72.4%	102	57.3%	3	75.0%	126	59.7%
2 参加していない	8	27.6%	76	42.7%	1	25.0%	85	40.3%
	29		178		4		211	

「参加している」と回答した生徒の割合は、全体の60%である。
「参加していない」と回答した生徒の割合は、全体の40%である。

部活動は楽しいですか。

	旧内浦・旧内海・旧能登原・ 旧常石小, 旧内海中		旧千年小, 旧千年中		その他		合計	
1 楽しい	12	57.1%	54	52.9%	0	0.0%	66	52.4%
2 どちらかと言えば 楽しい	6	28.6%	37	36.3%	2	66.7%	45	35.7%
3 どちらかと言えば 楽しくない	1	4.8%	7	6.9%	1	33.3%	9	7.1%
4 楽しくない	2	9.5%	4	3.9%	0	0.0%	6	4.8%
	21		102		3		126	

「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答した生徒の割合は、全体の88%である。
「楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」と回答した生徒の割合は、全体の12%である。

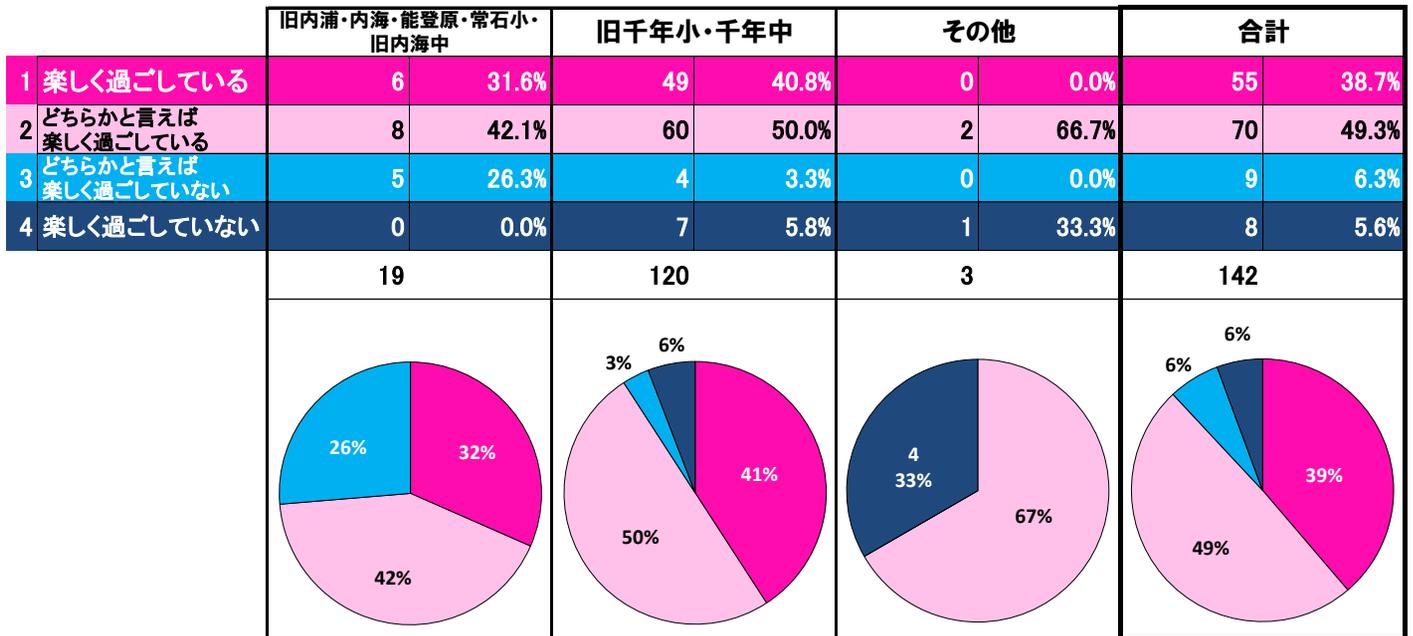
【グラフの見方】

※ 合計142人の保護者が回答しています。

(旧内浦小 0人, 旧内海小 2人, 旧能登原小 6人, 旧常石小 7人,
旧千年小 40人, 旧内海中 4人, 旧千年中 80人, その他(学区外) 3人)

イ 保護者

子どもは学校生活を楽しく過ごしていますか。



「楽しく過ごしている」「どちらかと言えば楽しく過ごしている」と回答した保護者の割合は、全体の88%である。

「楽しく過ごしていない」「どちらかと言えば楽しく過ごしていない」と回答した保護者の割合は、全体の12%である。

ウ 主な記述回答

生徒

■ 【全員】学校が楽しい理由

- ・活動を考えるのが楽しい。
- ・友だちと話をすることや部活が楽しい。
- ・満足できる学習ができるから。
- ・友だちと学習するのが楽しいから。
- ・他の地域の生徒や他学年と交流できるから。
- ・授業で新しいことを覚えるのが楽しい。
- ・先生たちを見ていると面白いし、授業も分かりやすく優しいから。
- ・間違えても優しく先生やみんなが教えてくれるから。
- ・給食がおいしい。
- ・新しい環境だから新鮮。

■ 【全員】学校が楽しくない理由

- ・クラスの雰囲気がよくないから。話す人があまりいないから。
- ・授業がつまらない。
- ・人間関係が嫌だから。友だち関係が面倒くさい。
- ・周りの人がうるさいから。
- ・先生とコミュニケーションが取れなくて難しい。

■ 【全員】授業についての思いや考え

- ・どの授業も、気軽に質問できてより学びを深めることができるようになった。
- ・とても分かりやすい。分からないところを聞けばすぐに分かりやすく教えてくれるから、きちんと授業を理解することができている。ペアワークやグループワークを積極的に取り入れてくれるから、今まで気づかなかった別の視点からの考えを知ることができ、個人でひたすら考えるより新たな発見が多くできた。ゲーム感覚での学習もあるので楽しんで学習することができた。
- ・授業でみんなとの仲を深めたいと思う。
- ・班活動をするときにいつも同じペアではなくたまには違うペアともしたい。
- ・もっと色んな人に発表をして欲しい。
- ・授業の中で、自分のペースで問題などを解く時間が欲しい。
- ・内容が難しくついていけないことがある。
- ・テスト勉強の仕方が分からない。
- ・中間テストを作って欲しい、単元テストでは意味がないと思うから。
- ・ホワイトボードのスクリーンが見えにくい。

■ 【部活動に参加している生徒】部活動が楽しい理由

- ・自分で考えて色々制作できるから。
- ・好きなことで体を動かせるから。
- ・運動が楽しいし上達していくのがわかるから。
- ・自分の実力を試したり、仲間と高め合ったりすることが楽しいから。
- ・友だちと一緒に競い合っって力をつけていくところ。新しい技が成功したりしたら嬉しいから。

■ 【部活動に参加している生徒】部活動が楽しくない理由

- ・クラブの人数が少なすぎる。
- ・やる気が出ない。
- ・先輩や先生があまり好きではない。
- ・一緒に行く人がいないから。

■ 【全員】想青学園で学ぶようになってから気が付いたこと（変化）、自分でも努力したこと

- ・学習態度。
- ・時間の意識。
- ・人間関係。
- ・友だちがいるから学習が楽しいことに気づいた。
- ・自分の意見を言えるようになった。表現力が高まった。
- ・今までは規模の小さい少人数の学校だったけど、想青学園になってから規模が何倍以上にも大きくなり、大人数になって様々な人たちと関わるようになり、前期の子からするところという考えがあるのだなと様々な人たちの視点に立つことの大切さに改めて気づくことができた。それとは反対に、大人数に慣れていなかったから人見知りをしてしまったり、授業で積極的になることができなくなってしまったりもしていたけど、それを克服するために授業で手を挙げてみたり呟いてみたり、自分なりの努力をしていくことができていると思う。
- ・積極的に委員会などに参加すること。
- ・自分一人で調べて発表した。
- ・自分たちで何事も取り組む力。
- ・S O S E I 学でいろんな活動ができる。
- ・地域のことをもっと知ろうと思った。
- ・パソコンを授業でよく使うからパソコンの重要度に気づけた。
- ・1～6年生の子と会える機会が増えた。前期課程の子がいると学校が明るい。
- ・前期課程もいるのでお手本となるような態度を見せられるようにしている。
- ・他学年の顔をよく見るようになって、表情の変化に気づきやすくなったと思う。
- ・校舎が変わって、勉強が楽しくなった。
- ・設備が整っていて、とてもすごしやすい。
- ・学校をより綺麗に扱う。
- ・よく声が響いてうるさいことがある。

■ 【全員】困っていること

- ・勉強が分からない。もっと分かりやすくしてほしい。
- ・授業中の無駄なおしゃべりが少し多い。
- ・クラスでの男女で分かれている感じがする。他学年，他クラスの人と交流する機会が少ない。
- ・前期課程との交流がなく，話せない。
- ・暖房が授業中かけっぱなしで気分が悪くなってしまいうから，授業に集中できなくなってしまう。

■ 【8年生以上の旧内海中の生徒】旧中学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなったが，どのように感じているか

- ・新しいことがたくさんあって楽しい。
- ・話し相手が増えた。
- ・交流がすぐにできる。
- ・話しかけることは自信がないけれど頑張っている。
- ・相手にどう思われているのか気になる。

保護者

■ 【全員】子どもが学校生活を楽しく過ごしていると思う理由

- ・毎日笑顔で学校に行く。
- ・元気に毎日生活しているから。
- ・勉強を頑張っている。
- ・学校から帰って，学校での楽しい出来事をたくさん話してくれるから。
- ・部活動のことを，いつも楽しそうに話してくれるから。
- ・学校へ休みの日でも行きたいと言う。
- ・色々と，授業や友だちとの話などをよく語ってくれる。自分の進路についても全力で取り組む姿を見て，毎日が充実していることが見て取れる。
- ・友だちとの交流が広がって，考え方もしっかりしてきたように思う。学校が楽しいと言うこともある。
- ・部活やクラスで自分の居場所がしっかりあるように感じている。
- ・新しい校舎になり，前期課程に兄弟がいるから安心感があるのか，精神的に落ち着いていることが多いと思う。

■ 【全員】子どもが学校生活を楽しく過ごしていないと思う理由

- ・環境，人間関係に馴染めていない。
- ・友だちとのいざこざに左右され，登校をしぶるときがある。
- ・クラスの間人間関係に疲れている。
- ・学校に行くことができていない。

■ 【全員】良いと思うこと

- ・ SOSEI 学はテーマに沿って考える力がつくと思った。
- ・ SOSEI 学で地域のことを知ることができ、総合的な学習ができる。
- ・ SOSEI 学等独自のカリキュラムがある。
- ・再編した地域にグループに分かれて調べ学習ができたこと。
- ・英語の授業は素晴らしい。授業は創意工夫がされ、テストも独創的。ニュージーランドとネットで繋いで生徒にプレゼンさせるなど、いつも色々なことにチャレンジされている。
- ・参観した数学や理科、英語の授業では、子どもたちが真面目に授業に参加し、先生の話に熱心に聞く姿が見られた。先生の授業の進め方と子どもたちの理解度のバランスが程よく調和していて、良い雰囲気での授業だと思った。
- ・みんなで話し合いながら勉強できている。
- ・子どもたちが自分の意見や思いなどを自ら述べて行動できている様子が素晴らしいと思った。
- ・生き生きとした日々を過ごしている。笑顔が増えた。
- ・多学年の交流ができるのはよい。新校舎での環境がよく、教室前にゆとりスペースがあるのはよい。
- ・想青祭とか地域が参加できる行事があること。みんなの協力、努力が伝わること。
- ・先生が親切。
- ・休まないといけないときでもタブレットで授業に参加できたりするため助かる。一年のときから受験に向けての話をしっかりしてくれるため、子どもは少しずつ受験のイメージを描けていると感じる。
- ・連絡等でタブレットをうまく活用できている。
- ・これから伝統が出来上がっていくのだろうが、自分たちで想青学園を作っていこうという思いが感じられる。

■ 【全員】課題と思うこと

- ・先生によって、授業中うるさいことがある。
- ・ある科目で我が子が、塾に行かなくて学校の授業だけ受けていたら全く理解できないだろうと言っていた。SOSEI 学について、取組自体は良いと思うが、我が子は、真面目に取り組んでいる子とそうでない子の差が激しいと言っていた。
- ・宿題がないため、塾など通っていない場合、学力の差や低下が心配。
- ・中間テストが無いのはなぜか分からない。
- ・SOSEI 学の課題等が他の勉強を圧迫しているように思われる。ちゃんと字を書く宿題をしっかり出してほしい。タブレットだと何をしているのか全く分からない。
- ・提出物や規則が、ややゆるいように思う。
- ・タブレットの使い方。
- ・タブレットの故障やアクシデントの時の先生の対応が悪い。提出物の提出に影響が出ている。

- ・昨年、運動会を小学校と中学校の合同で行ったが、これは別々にした方がいい。人数と学年が多すぎて一人当たりの出場回数が減るし、小学1年と中学3年と一緒に運動会をするのは無理がある。
- ・もう少し各学年の色々な情報が保護者に伝わる何かがあると、もっと保護者が学校のことを身近に感じることができるのではと思う。想青学園になり各学年の情報量が少なくなって物足りなさを感じる。
- ・これからもっとみんなが交流できる行事があれば良いと思う。また、下校時刻表や行事の案内が遅いように思うので、早めにお知らせしてほしい。
- ・子どもたちとの関わり方。
- ・受験に向けて自己表現をできるようになること。
- ・行事を行うときの保護者の駐車場。

■ 【全員】想青学園で学ぶようになって子どもたちが成長したと思われること、子どもたちが努力し克服したこと、そのとき保護者がされたかかわりなど。

- ・勉強でのつまずきを自分で克服。無理強いせず、子どもを信じる。
- ・想青学園で学ぶようになったからかは分からないが、受験生としての自覚が芽生えてきて、勉強に取り組むようになった。
- ・タブレットで自主的に勉強している。
- ・S O S E I 学で自己のアピール力が上がる。
- ・昨年東京へ修学旅行で行ったが、子どもたちだけでの企業訪問があった。電車にろくに乘ったことのない子どもたちが地下鉄に乗るなど心配でしかたなかったが、どのグループも彼らだけでプロジェクトを成し遂げたようだ。本人たちもこれは大きな自信につながったようだ。先生方は準備や手配など大変だったと思う。感謝しかない。
- ・再編という経験したことのない出来事に驚きや不安をもちながらも、お互いに打ち解けている様子や、バス通学の難しさを聞いたり感じたりするなかで、友だちが苦勞をしている話を私たち保護者にもしてくれている。初めは少人数の学校から来た友人に戸惑いがあったようだが今はそのようなことは感じてないように思う。
- ・想青で我が子は友だちづくりを頑張っていた。親は見守っていただけ。
- ・入学した頃、通っていた学校も違い、クラスの知らない友だちがたくさんいて、疲れてしまい、慣れるまで週1、2回欠席していた。クラスの中で、先生に反発して言い合っているのを聞いていることもストレスだった。担任の先生に相談したり聞いてもらったり、我が子の状況を理解してもらった。行かせようとしても行かないとき、無理矢理連れて行ってもしんどくなるだけだし、休ませたらいいと考え方を変えたら、子どもも楽になったのかスムーズに行き始めた。
- ・部活動の練習中、年相応の悩みが出てきたときがあったが、顧問の先生や教頭先生がよく話を聞いてくれ、子どもたちの成長を温かく見守ってくれた。おかげで最後までやり遂げる事ができた。
- ・担任の先生と本人と3人で話し合い、少し前に進めたことがよかった。
- ・色々な友だちの関わりが増え、色々な人の思いなどが知れた。
- ・自分たちで何事も考え進めることができるようになったと進路説明会に行った際に思った。

- ・下の子を気遣うことが多くなった。
- ・前期課程との違いを受け入れて責任のある行動ができるようになったこと。
- ・新しい校舎での学校生活はとても楽しいようで、綺麗な学校を維持したい！と掃除を頑張っていると聞いた。家庭でもよくお手伝いをしてくれるようになり、すごく成長を感じている。

■ 【全員】今心配に思われていること、教育委員会や学校に知らせたいこと

- ・小学生は宿題がないということ。
- ・S O S E I 学の課題等はその他の勉強を圧迫しているように思われる。
- ・学力、体力低下。
- ・タブレットで、Y o u T u b e を見たりしている時間が多い。もっとタブレットを使つての宿題を増やしてほしい。自主的と言ってもしない子はしない。強制的に量を増やすべき。
- ・携帯電話の使用を制限しても学校のタブレットで色々なことができていたので困っている。課題をやっていると言うが実際は遊んでいたりしている。
- ・色々な友だち関係もきちんと把握して、クラス編成してほしい。
- ・中学生が難しい年頃なのは分かるが、後期課程の先生は若い方が多いせいか、我が子の話の聞いていると、子どもとの接し方に疑問を感じる。
- ・旧学校での行事や地域でのイベントなどが無くなり、子どもたちの声が無くなった。地域の方からも淋しくなったと聞く。
- ・地域の方が自由に学校に入れると言うような感じが不安と、子どもから話に聞いている。なにかからセキュリティが働く部分があるのか、子どもが理解してないだけかもしれない。このご時世、だれでもいつでも学校に自由に出入りできると言うのはうちの子だけの誤解だろうか。理解できていない子どもから話を聞いた保護者としては、地域に開放するのは賛成だが、防犯面では心配に思う。
- ・自転車の交通ルールを守っていない生徒がいる。

■ 【8年生以上の旧内海中の生徒をもつ保護者】旧中学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなったが、どのように感じているか

- ・今はリモートでどこでもつながる。（再編の）必要性をあまり感じない。
- ・以前は先生や友だちとの距離感が近かったため、集団の規模の大きさに子どもが戸惑い、ストレスを感じていることが心配。

■ 【全員】コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）について、教育活動を充実させるため保護者（地域）としてできること、また、子どもたちの学びにどのようにかかわっていききたいか。

- ・保護者として学校から要望があれば可能な限り協力したいと思う。
- ・朝の通学の見守りをできるだけしたい。
- ・子どもへの挨拶を通した地域全体での子どもたちが安心して学べる環境づくり。
- ・住んでいる街の誇りを全国にPRする取組を子どもたちと一緒に考えて発信していきたい。

- ・もっとフィールドワークで、地域とのかかわりがあってもよいと思う。
- ・一緒に何か活動をする。例えば、地域清掃（学校帰りにごみを拾う）に行ける保護者も参加を呼びかける。教育講演会のようなものがあれば、保護者も生徒も聞いて家庭で話をする。
- ・参観授業などで地域のことを学ぶ。たまには歩いて色々なことを感じたり知ったりするのも新鮮。清掃活動などいい経験になると感じる。
- ・地域住民がボランティアとして学校でのさまざまな活動に関わっていくこと。
- ・学校を知ること。
- ・子どもが成長できる場を見ていきたい。
- ・想青ナイトで6年生の発表を聞かせてもらい感動した。自分の子どもの学年ではなくても学びの発表を地域の一人として聞きたいと思った。
- ・子どもと話し合う時間を大切に、今後どうしていきたいかを一緒に考える。
- ・地域と考えると難しいが、いつでも見守り信じている姿勢で関わっていきたい。
- ・家庭での規則正しい生活、食事面を親がきちんとしてあげることだけでも、精神面が安定し、学校でもより良い生活ができるのではないかと思う。
- ・スクールバスを使って、地域の人が学校行事に参加できて、子どもたちと交流ができればよいと思う。
- ・コミュニティ・スクールが何なのか、保護者や地域への理解が進んでいないと思う。

3 アンケート内容

想青学園（後期課程生徒）

◇学校生活についてのアンケート（生徒対象）

名前（記入）・学年と旧学校名（選択）

このアンケートは、皆さんが、想青学園で楽しく過ごしているか、困っていることはないかを教えてもらうために行うものです。

これからの取組に活かしていきますので、思ったとおりに教えてください。

◆学校について

《全生徒》

○学校は楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

★楽しい・どちらかと言えば楽しい を選択した生徒への問

○楽しい理由を教えてください。（記述）

★どちらかと言えば楽しくない・楽しくない を選択した生徒への問

○楽しくない理由を教えてください。（記述）

◆授業について

《全生徒》

○新しいことを知ったり，調べたりすることが楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

○自分で考えたり，友だちと話し合ったりすることが楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

○「分かった」「できた」と実感することがよくありますか。（選択肢4つ）

よくある・どちらかと言えばある・どちらかと言えばない・ない

○授業について，思いや考えがあれば，自由に書いてください。（記述）

◆部活動について

《部活動に参加している生徒》

○部活動は楽しいですか。（選択肢4つ）

楽しい・どちらかと言えば楽しい・どちらかと言えば楽しくない・楽しくない

★楽しい・どちらかと言えば楽しい を選択した生徒への問

○楽しい理由を教えてください。（記述）

★どちらかと言えば楽しくない・楽しくない を選択した生徒への問

○楽しくない理由を教えてください。（記述）

◆再編について

《全生徒》

○想青学園で学ぶようになってから気が付いたこと（変化），自分でも努力したことなどを教えてください。（記述）

○今，困っていることがあったら教えてください。（記述）

《8年生以上の旧内海中の生徒》

○前の学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなって（友だちの人数が増えて）、
どのように感じているか教えてください。（記述）

◇学校生活についてのアンケート（保護者対象）

名前（任意）・子どもの学年と旧学校名（選択）

子どもたちの様子や保護者の思いを把握する中で、課題への対応など今後の取組に活かしていくため、アンケートを実施します。

いただいた御意見は、アンケートの目的以外には使いません。御協力よろしくお願いたします。

◆**学校生活について**

《全保護者》

○子どもは学校生活を楽しく過ごしていますか。（選択肢4つ）

楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしていない・楽しく過ごしていない。

★楽しく過ごしている・どちらかと言えば楽しく過ごしている を選択した保護者への問

○楽しく過ごしている理由を聴かせてください。（記述）

★どちらかと言えば楽しく過ごしていない・楽しく過ごしていない を選択した保護者への問

○楽しく過ごしていない理由を聴かせてください。（記述）

◆**教育活動について**

《全保護者》

○学校の教育活動（授業、行事等の取組）について、良いと思うことや課題と思うことなどを教えてください。（記述）

- ・良いと思うこと
- ・課題と思うこと

◆**再編について**

《全保護者》

○想青学園で学ぶようになって子どもたちが成長したと思われること、子どもたちが努力し克服したこと、そのとき保護者がされたかかわり（応援や励まし、教員への相談）などを聴かせてください。（記述）

○今心配に思われていること、教育委員会や学校に知らせたいことがあったら教えてください。（記述）

《8年生以上の旧内海中の生徒の保護者》

○前の学校よりも学校の規模（集団規模）が大きくなりましたが、どのように感じているか聴かせてください。（記述）

◆コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）について

《全保護者》

○想青学園は、コミュニティ・スクールとして、学校と地域が連携・協働し、学校教育目標「学びあい 育ちあう」のもと教育活動を推進し、子どもたちのより良い成長を促していきます。

・教育活動を充実させるため、保護者（地域）としてどんなことができると思いますか。また、子どもたちの学びに、どのようにかかわっていきたいですか。（記述）